計算ができない!

買い物のとき、スマートフォンのアプリや、クレジットカード、プリペイドカードなどを使って、料金を払うことが多くなってきました。小さなお店などでは、現金(キャッシュ)しか使えないところもありますが、多くのお店ではキャッシュレスで払うことができます。とても便利ですが、私たちの暗算の能力は一気に落ちてしまったのではないでしょうか。「静炉」というのは、計算機を使ったり紙に書いたりしないで、質の中だけで計算をすることです。

私は、2010年代の前半くらいまでは、買い物のときはいつも現金で払っていました。その頃はよく、こんなことがありました。

店員「1,720円です」

私「はい」

財布の中にちょうど 1,720円がないとき、私はおつりでもらう硬貨の数をできるだけ少なくしたいので、暗算をしました。

^{ねが} 「じゃ、これでお願いします」(2,220円を出す)

下記 「2,220円、お預かりしましたので、500円のお返しです。」(500円硬貨を 1枚 出す)

当時のレジは、おつりがいくらになるか自動でわかるものは少なかったのですが、レジの人が素早く暗算をしておつりを用意してくれていました。

しかし、キャッシュレス化が進むにつれて、わたしたち人間の暗算能力は落ちてきているように感じます。私が最初にそれを感じたのは、ある日のコンビニでのやりとりでした。私は、1,620円の買い物をして、レジで 2,120円を出しました。しかし、レジの人が「(私の出したお金のうち、120円を私に返して)これ、夢いですよ。こちらの 2,000円お預かりします。」と言ってレジの機械に 2,000円だけを入れました。そして、380円のおつりをくれました。返された 120件とおつりの 380円の硬貨が私のところに残りました。

わたしも、他の人のことばかり言っている場合ではありません。毎日のようにキャッシュレスで払っているうちに、簡単な計算にも、ものすごく時間がかかるようになってしまいました。以前は、例えば財布の中に1,000円しかない状態でスーパーに行く時は、「卵 180円、牛乳 195円…」などと、1,000円以内になるように暗算をしていました。しかし、つい最近、スマホやクレジットカードを忘れ

て買い物に行ったとき、暗算するのにとても時間がかかりました。(スマホもなかったので、計算機も使えなかったのです!)しかも、暗算を間違えてしまい、レジでお金が足りなくなり、恥ずかしい思いをしました。

今から、また全ての買い物の支払いを現金に戻そうとは思いませんが、「買い ***
かり、また全ての買い物の支払いを現金に戻そうとは思いませんが、「買い ***
物」に代わるような暗算の機会を増やさなければいけないなと感じています。

(1024学)

(2021.11 Written by Junko SATO)



が、出典:「たどくのひろば」(http://tadoku.info)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.